

仲間と一緒に山登りは  
楽しくてやめられないの



↑山野草の女王「コマクサ」

やまじょ  
**山女**

### 人吉球磨ハイキングクラブ

2002年に発足し、月に2回は九州の山を、年に1〜2回は遠出して登山を楽しむ人吉球磨ハイキングクラブの皆さん。会員は男女合わせて24人。  
これまでに登った山は、最高峰は富士山をはじめ、第二の高峰南アルプスの北岳、北アルプスの奥穂高岳、槍ヶ岳にも登っています。山に登るだけでなく、時には岩登りや沢登り、レスキューの練習や勉強もしています。  
山に登るために、それぞれに日々歩いたり、走ったりして足腰を鍛えています。「目的地に着いたときの達成感を味わうと、足の痛みも、きつさも全てが喜びに変わります」と皆さん。自然を肌で感じ、四季折々の山の美しさも登山の魅力です。一緒に山登りをしてみたい会員も募集中!!



↑槍ヶ岳登山



人吉市  
笠原 洋子さん(67才)  
山歩きで無心になりすぎて、前の人にぶつかることも(笑)



人吉市  
徳澄 恵子さん(67才)  
ハタチ過ぎからずっと山登り。主人とも山で出会ったわ。



人吉市  
高田 圭子さん(68才)  
みんなで山に登ると元気をもらえるよ



球磨村  
浦野 育子さん(69才)  
岩登りに挑戦したの。



球磨村  
山口 志磨子さん(75才)  
毎日歩いて、鍛えているの。

やまじょ  
**山女**



相良村森林組合 技師補  
相良村 古川 育美さん  
(19才)

AT 限定で取った運転免許も  
今はマニュアルに。  
もっと山のこと勉強するぞ♡



→立木調査の作業の一つで、樹高を測っているのよ

高校卒業後は地元で働きたい、という希望があった古川さん。相良村森林組合に就職して2年目の初々しい社会人です。  
山の現場での仕事は、作業道の測量やプロット調査(山にどれくらい木が生えているかの調査などの補佐。山林の境界にペンキを塗ったり、除草作業の依頼が来た現場の写真撮影という作業もあります。樹種の見分けや、現場までの道を覚えること、除草に関しても効率よく作業をしてもらう方法を考えるのに、まだ苦労も多いそうです。  
山で働くようになって、遠くからただ形として見ていた山が、近くにいくとこんな木があるんだな、など見方も変わってきたとか。  
今はまだ、出来る事が限られていますが、もっと勉強して山に関する知識をしっかりと担当していくようになるのが古川さんの目標。現在、森林施業プランナーという資格試験に向けて勉強中です!

山と川が私たちのフィールド

やまじょ

かわじょ

# 山女・川女

360度山に囲まれた球磨盆地。日本三急流の球磨川、水質日本一の川辺川。人吉球磨に暮らす私達にとって山と川は身近な存在ですね。そんな山と川を舞台に、仕事や趣味で活躍する元気いっぱいの女性達、「山女(ヤマジョ)」・「川女(カワジョ)」に会って来ました!



天然のヤマメを  
自分で釣って  
食べるって最高!

かわじょ  
**川女**

人吉市 緒方 美奈子さん  
(釣り歴3年・39才・介護士)



キャニオニングをした川を泳いで渡ったり、そもそもアウトドア好きで、溪流へ行くのも一人で平気という緒方さん。雨が降ると川釣りができないときは海釣りもするというほど釣り好き。  
初めて五木村へ行ったときは、あまりの川の美しさに感動したとか。釣り方はエサ釣り、始めた当初はエサである虫が苦手でしたが、今は可愛いくて可愛くて仕方ない。  
「天然のヤマメを自分で釣って食べるって最高! 最近七輪も買いました。日焼けしすぎて救急搬送された経験も。日焼け対策は大事です」と話します。

今年も球磨川ラフティングの最盛期が到来しました！最近では、ゴムボートが列を成して川を下る光景も風物詩となってきましたが、そのボートを操る「リバーガイド」として活躍しているのは、男性だけではなく、女性もいます。

ガイドを始めたきっかけは、みなさんそれぞれ。はじめは男性との力の差を感じる場面もあったそうですが、回数をこなして慣れていくそうです。ガイドとお客さんが力を合わせて急流を下るのがラフティングの醍醐味。雰囲気作りやコミュニケーションの取り方は、ガイドによってさまざま。ボートの上で自分の個性をどう生かすかが、ガイドの仕事の面白さでもあるとか。そしてなんと、自然の中で自分も癒やされながら、お客さんにも楽しんでもらえる最高の仕事だと声を揃える皆さんです。

緒方さんは、ラフティングの仕事を通して知った川の魅力を、子ども達にももっと伝えたい、と感じているそうです。川には危険もありますが、危険を知ること安全に川と付き合うのに必要なこと。安全な遊び方をしっかり教えていくこともこれからの役割になるかもしれない、と話します。

最後に、「ラフティングは人吉球磨外のお客さんがほとんど。でも、地元人たちにもっとラフティングを体験してみたい」と思っている皆さん、この夏こそラフティングを体験してみませんか？

## ラフティングリバーガイド

自然の中で自分も癒やされながら  
お客さんにも喜んでもらえる  
最高の仕事♡



KUMAGAWA RAFTING CLUB  
H/P 090-7453-4666



人吉市  
木本 千景さん(29才)  
①ちーぼー②4年③ランドアース④リバーガイドに憧れていたところ、ランドアースのスタッフにスカウトされたこと。⑤デビューした年、ガイドが運動になり14kg 痩せた。



山江村  
緒方 雅代さん(？才)  
①ママ②14年③ランドアース④ツアーに参加したことを機に、ガイドになりたいと思い翌年にトレーニングを開始。⑤1児の母だったことからガイド名が「ママに」。幼かった娘も、もう高校生。



人吉市  
山本 礼惟さん(28才)  
①レイチェル②ガイド資格あり。ランチ・カメラ担当③ランドアース④ランチスタッフとして川から上がってくるツアー客に美味しい料理を提供している。



人吉市(福岡県出身)  
三宅 裕子さん(29才)  
①ゆうこりん②1年目③ランドアース④スノボを通して知り合ったランドアースのスタッフに、ガイドにならないかとスカウトされたこと。⑤今年デビューしたばかり。安全第一で頑張っている。



多良木町  
松下 真子さん(29才)  
①maco②4年③ラフティング球磨川ABC④もともとABCの事務員。ガイドの資格試験の際、人数が足りず、人数合わせに資格を受け取得したこと。⑤幼い頃から家族の夏の行事で、決まってゴムボートで川下りをしていた。



あさぎり町  
米田 衣里さん(27才)  
①エリ②6年目③球磨川ラフティングクラブ④掛け持ちの仕事を探していて、ラフティングの求人を見つけたこと。⑤人吉高校のカヌー同好会出身。「女子チームが少なかったから」とはいえ、全国高校総体まで出場している。

米田さんのガイドのようす



## やまじょ 山女

人吉山楽会

会の代表である永椎賢一さんに取材依頼をする、「取材というより、山に行こう、と声を掛けた方が集まりました」と笑う永椎さん。取材日に合わせて急遽登山のスケジュールを組まれたのです。しかもまだ梅雨の明けない頃だったにも関わらず、雨は降りそうにありません。「雨の予報も晴れにすつとばい。晴れ女やっでね」と笑う笑顔から晴れパワーが溢れています。

月に1回、九州管内の山へ登ります。時には九州を出て、アルプスの山にも登られるとか。富士山、白馬などこれまでに登った山は数知れず。

「頂上に登った達成感は、お金では買えない」、「同じ山でも季節が違えば楽しみも違う」、「山は行っても行っても未知の世界なの」と山の魅力を語るみなさんでした。

雨の予報も晴れにしよう  
晴れ女ぞろい♡



松下さんのガイドのようす

